

2—8—0

(包紙)

「松浦河内守様 阿倍四郎五郎」

2—8—1

尚以弥御堅勝可有御座候^与玆重

奉存候、将又此書狀、則大谷九右衛門

持参仕候様申付候、左様御心得

可被下候、以上

一筆致啓上候、先以其

御地御別条無御座、弥

御堅固御勤可被成と玆重

奉存候、然^者伯耆国米子

町人大谷九右衛門儀江戸表^江

願之儀有之罷出此度帰国

仕候、此町人之儀私先祖代々

出入仕候者^ニ御座候、其御地^江

御願罷出候、尤願之筋不苦

思召候ハ、宜奉頼候、少^茂御障り

御座候ハ、御捨置可被下候、此段

御頼可申候上如斯御座候

恐惶謹言

阿倍四郎五郎

四月七日 政以(花押)

松浦河内守様

参人々御中